
シャボン玉の恋

霜月真希

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シャボン玉の恋

【Nコード】

N2081L

【作者名】

霜月真希

【あらすじ】

中学三年生の柊小夏は、受験という名の地獄と戦っている。でも、そのかたわらで、幼馴染で初恋の相手、小野たまきとの思い出の場所を探し、毎年八月八日に面影を探しながら探している。

ブローグ〜思い出〜(前書き)

ここでは初めての小説です。

未熟者ですが、よろしくお願いします。

ブローグ〜思い出〜

「毎年、八月八日。君との思い出の場所で、会おうね」

それは、突然だった。

あなたは突然、その言葉を残して、わたしの前からいなくなってしまった。

悲しい顔もせず、あなたは可愛い微笑だけを残して、いなくなっ

た。
その時のわたしは、何のことかわからず、あなたを見送っていた。涙も出ず、あなたの後姿を見送っていたんだ。手を振り、明日も会えると、その時は思っていた。

でも、次の日、あなたは現れなかった。

母に聞いて、あなたがこの町から、この国からいなくなった事を知った。

まだ未熟だったわたし。

でも、あなたの事を思い、わたしは力いっぱい泣いたんだよ。一週間も学校を休んだわたしを、友だちは励ましてくれた。

だけど、とても元気になれなかった。その時の事を思うと、申し訳ない気持ちでいっぱいになる。

……あの時のあの言葉。

今でも、わたしはどこだか分からない。

毎年八月八日。わたしは、自分で思いつく、あなたとの思い出の所を探しながら、さまよっている。

でも、あれから七年。

小学二年生だったわたしは、中学三年生になった。
八歳から十五歳。

今わたしは、受験という地獄と戦っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2081/>

シャボン玉の恋

2011年1月26日00時33分発行